

V 教育研究活動報告 (1997年4月～1998年3月)

1. 研究例会

第24回 「初級日本語教科書 "Japanese for College Students"について」

根津真知子 1997年6月10日

第25回 「ICUにおける帰国生対象の日本語クラスについて

—— 対象、目標、シラバス、教材、クラス活動の紹介と今後の展望 ——

小澤伊久美 1997年11月18日

第26回 「中級会話教材『Communicative and Narrative Japanese』について

小川 貴士 1997年12月16日

第27回 「『Japanese for College Students: Basic』

「ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）における利用状況から」

徳本 浩子 1997年12月19日

第28回 「インテンシブⅡとⅢの構文について」

杉浦由紀子 1998年 2月24日

第19回 「話し言葉の男女差 —日本語の文末表現を中心に—」

小川早百合 1998年3月5日

2. 夏期日本語教育

1997年度夏期日本語教育は1997年度7月3日から8月15日まで行われた。

1. スタッフ

飛田良文	日本語教育研究センター長
稲垣滋子	サマーコースディレクター
平田 泉	サマーコース教務主任
村野良子	サマーコース主任講師
小川貴士	文化プログラム主任
岡田勝子	日本語教育研究センター長補佐

2. 教師名簿 (所属は1997年7月1日現在)

教務主任	平田 泉	ICU JLP・講師
C1	村野 良子	ICU JLP・講師

	牧野 礼子	University of Illinois at Urbana Champaign / T.A.
C2	太田 博 畑中 千晶	University of Hawaii at Manoa / 常任講師 東京大学／駒澤大学・非常勤講師
C3	高嶋真理子 佐藤 京子	Purdue University / T.A. University Oregon / Teaching Fellow
C4	佐藤由起子 南雲弥恵子 遠藤 藍子 須山 敏行	ICU JLP / ITSランゲージセンター / インターカルト日本語学校・非常勤講師 ICU JLP / 千葉大学留学センター・非常勤講師 ヒューマンアカデミー日本語教師養成講座・講師 ICI(International Communication Institute) / インストラクター Knox College / インストラクター
C5	北村 貫志 鈴木 智子	The University of Birmingham Japan Center / Tutor JALアカデミー日本語科 / (株) ABC・講師
C6	南之園博美 竹馬 義樹	Adam Mickiewicz University / Senior Lecturer Purdue University / Graduate Assistant
C7	杉浦由紀子 石田小百合	ICU JLP / 上智大学 / 専修大学・非常勤講師 筑波大学大学院在学
C8	藤原 恵美 那須 理香 丸山 千歌	Washington University in St. Louis / 常勤講師 早稲田大学国際部 / 東京大学教養学部・非常勤講師 ICU JLP・非常勤助手 / 東京大学教養学部 / 東京家政学 院大学・非常勤講師
CK	小澤伊久美 小林 茂之 工藤嘉名子	ICU JLP・非常勤助手 / 東京家政学院大学・非常勤講師 東京大学大学院在学 The University of British Columbia / T.A.

3. 応募者内訳

応募者	1 5 7	合格者	1 5 2
合格者	1 5 2	受講辞退者	3 0
不合格者	5	受講者	1 2 2

4. 受講者内訳

1. 身分別

	男	女	計
一般学生	37	56	93
* 教育交流プログラム学生	12	13	25
ICU職員	4	0	4
合計	53	69	122

* <内訳>

交換留学生 (UC)	9	9	18
交換留学生 (POMONA)	0	3	3
交換留学生 (MGIMO)	1	0	1
減額プログラム (Summer Invitee)	2	1	3
	12	13	25

2. 宿舎別

	男	女	計
自分で用意	14	8	22
ICUが用意	39	61	100
<内訳>			
学生寮	20	37	57
サクラハイツ	7	5	12
ホームステイ	12	19	31
	53	69	122

5. 国籍

Australia	1	Canada	7	China	1
Denmark	5	El Salvador	1	France	2
Germany	2	Hong Kong	10	Indonesia	1
Israel	1	Italy	2	Japan	2
Korea	7	Malaysia	1	Mexico	1
Nigeria	1	Russia	4	Singapore	2
Spain	1	Sweden	2	Taiwan R.O.C.	5
Turkey	1	U.S.A	52	U.S.A/Japan	2
UK	5	Venezuela	1		
Total					122

3. 日記抄

1997年4月8日 センター会議

1997年度サマーコース受講生数(149名)と減額プログラムの対象者、講師とコース
(22名9コース)の報告

1997年5月20日 センター会議
サマーコース講師リストの報告の承認

1997年5月27日 センター会議
サマーコース日程表の承認

1997年6月10日 センター会議
The Asia Workshop出張報告書の配付

1997年6月17日 センター会議
サマーコース教材リストの配付。プレースメントテストの実施方針の確認。
文化プログラムの日程表の配付。

1997年9月9日 センター会議
1998年度サマーコースの教務主任に村野、文化プログラム主任に小川講師を承認。

1997年9月16日 センター会議
1998年度サマーコースのディレクターにベデル教授、主任講師に鈴木講師を承認。

1997年9月30日 センター会議
サマーコースの日程のを配付。

1997年10月7日 センター会議
サマーコースのレベル分けをJLPと合わせることを承認。

1997年10月14日 センター会議
サマーコースの講師出講日について報告。

1997年10月21日 センター会議
受講生の選抜について報告。

1997年10月28日 センター会議
予算請求の報告。サマーコースの日程と費用の承認。学生の選抜方法の承認。

1997年11月11日 センター会議
センター所長会議の報告。

1997年11月18日 センター会議
センター紀要7号を初級教科書特集号とすることに決定し、執筆分担を決定。

1997年12月9日 センター会議
紀要の投稿規定の改訂を承認。

1998年2月9日 センター会議
1998年度夏期日本語教育講師の選考結果を一部保留の形で承認。

1998年2月16日 センター会議
上記一部保留の選考を承認。研究例会

4. 日本語教育研究センター教員研究活動報告（1997年4月から1998年3月）

George D. Bedell

研究論文

1. "Noun Modification According to Norinaga and Nariakira", ICU日本語教育研究センター紀要(Research Center for Japanese Language Education Annual Bulletin) 6, 1997, 1-14 頁
2. "Causatives and Clause Union in Lai (Chin)", Mon-Khmer Studies 27, 1997, 219-232頁

その他の出版物

1. "Thinking in Japanese: Simple Sentences" (with M. Hirose), The East 33:1, 1997.
2. "Thinking in Japanese: Kanji" (with M. Hirose), The East 33:2, 1997.
3. "Thinking in Japanese: Negation" (with M. Hirose), The East 33:3, 1997.
4. "Thinking in Japanese: 'Be' and 'Have'" (with M. Hirose), The East 33:4, 1997.
5. "Thinking in Japanese: Questions and Answers" (with M. Hirose), The East 33:5, 1998.
6. "Thinking in Japanese: Noun Modification" (with M. Hirose), The East 33:6, 1998.

研究発表

1. "Benefactives and Clause Union in Lai", Seventh Meeting of the Southeast Asian Linguistics Society, Urbana, Illinois, May 10, 1997.
2. "Describing and Explaining Lai", Second CACC Linguistics Seminar, Yangon, Myanmar, November 14, 1997.
3. "Passives and Clefts in Lai", Second CACC Linguistics Seminar, Yangon, Myanmar, November 14, 1997.
4. "Causatives and Clause Union in Lai", Second CACC Linguistics Seminar, Yangon, Myanmar, November 15, 1997.
5. "Benefactives and Clause Union in Lai", Second CACC Linguistics Seminar, Yangon, Myanmar, November 15, 1997.

飛田良文

1997年4月-1998年3月

編著

1. 『ことばのはじめ ことばのふるさと 日本語の単語』（荒尾禎秀と共著）
アリス館 1997年4月 142頁
2. 『日本語文章表現法』 編著 白帝社 1997年7月 287頁

3. 『国語論究6 近代語の研究』（編集 佐藤喜代治 編集委員 遠藤好英・加藤正信・佐藤武義・峰谷清人・飛田良文・前田富祺・松本宙・村上雅孝）明治書院 1997年 601頁
4. 『明治期国語辞書大系』第一期7巻（編集 飛田良文・松井栄一・境田稔信）「語彙」「漢英対照いろは辞典」「ことばのはやし」「日本小辞典」「雅言解」「雅言小解」「雅言略解」大空社 1997年9月
5. 『現代日葡辞典』（ジャイメ・コエリョと共著）小学館 1998年1月 この辞書の使い方 10頁 本文1461頁

論文

1. 「十九世紀の英華・華英辞典目録―翻訳語研究の資料として―」（宮田和子と共著）『国語論究6』明治書院 1997年7月 1-101頁
2. 「国語辞書における形容詞の意味記述」『月刊言語』1998年3月 64-70頁

その他の出版物

1. 「日本・ポルトガル友好の架け橋―『現代日葡辞典』刊行まで17年」『公明新聞』文化欄 1998年1月13日
2. 「著者に聞く本格的な日本語・ポルトガル語辞典の誕生『現代日葡辞典』の編者飛田良文さん」『月刊日本語』1998年3月

研究発表

1. 「いろは順から五十音順へ」近代語研究夏期合宿 戸隠ぴあろっきー 1997年8月

稲垣滋子

再録論文

1. 「誤用分析（1）話しことばと書きことばの使い分け（2）呼応関係の緊密性（3）読み誤りの一類型（4）書き誤りから知る語彙の小体系（5）不自然な表現（6）人間関係によることばの使い分け」明治書院企画編集部編 日本語学叢書『日本語誤用分析』明治書院、1997年6月、109-155頁、
（『日本語学』1985年1・2・3・4・5・6月号（明治書院）より転載）
2. 「符号の使い方」『季刊モジカ』8、文字デザイン研究会、1997年7月、2-16頁
（武部良明編『講座日本語教育 第8巻 日本語の文字・表記（上）』（明治書院）1989年7月より転載）

報告

1. 「機能シラバスから見たJapanese for College Students ―日本語教授法受講生のコメントから―」『ICU日本語教育研究センター紀要』7,1998年3月.

その他の出版物

1. 「国語学 近代・現代（音韻・文字・表記）」（特集 平成8年国語国文学界の展望）、
全国大学国語国文学会編『文学・語学』第157号、78-79頁

研究発表

1. 18世紀ロシアの日本語教育における教育観ーゴンザ訳『日本語会話入門』を中心にー
平成9年度日本語教育学会春季大会、1997年5月25日 予稿集、1997年5月、153-158頁

中村妙子

研究論文

1. 「日本語教授法における日本語クラスの見学」『日本語教育論文集ー小出詞子先生退職
記念ー』凡人社、1997年6月、489-507頁

報告

1. 「日本語教授法における初級教科書分析、一文法について」『ICU日本語教育研究セン
ター紀要』7.1998年3月

編著

『日本語教育論文集ー小出詞子退職記念ー』（上仲淳、上野田鶴子、金澤協子、古藤友
子、蓮沼昭子、福岡寿美子、山田幸宏、吉田晃高と共編）、凡人社、1997年6月、831頁

広瀬正宜

報告

1. 「文法ノート」『ICU日本語教育研究センター紀要』7,1998年3月.
2. 「ICUにおける帰国学生に対する日本語教育について」『日本語教育論文集-小出詞子先
生退職記念』凡人社、1997年6月、809-810.頁

その他の出版物

1. "Thinking in Japanese: Simple Sentences" (with G.Bedell), The East 33:1, 1997.
2. "Thinking in Japanese: Kanji" (with G.Bedell), The East 33:2, 1997.
3. "Thinking in Japanese: Negation" (with G.Bedell), The East 33:3, 1997.
4. "Thinking in Japanese: 'Be' and 'Have'" (with G.Bedell), The East 33:4, 1997.
5. "Thinking in Japanese: Questions and Answers" (with G.Bedell), The East
33:5, 1998.
6. "Thinking in Japanese: Noun Modification" (with G.Bedell), The East 33:6,
1998.

公開講演

1. 「マルコの敬語」早稲田大学国語学会 1997.10.11.

中村一郎

なし

根津真知子

報告

1. 「ICU初級日本語教科書の出版までの経緯」『ICU日本語教育研究センター紀要』7,1998年3月.
2. 「教師用指導書の作成と使い方」『ICU日本語教育研究センター紀要』7,1998年3月.

予稿集

- 1 "Point of View and Opinion-Giving in Discussion Tasks", with Virginia LoCastro, Proceedings for Conference on Second Language Research In Japan, International University of Japan, 1997

教科書

- 1 *Japanese for College Students: Basic Teacher Manual*. (平田泉・村野良子との共著) 講談社インターナショナル、1997年7月

研究発表

- 1 (IR)to omoimasu and (IR)think(IS: A pragmatic mismatch(IS, with Virginia LoCastro, LLL Lecture, ICU, May.1997
- 2 (IR)Beyond Method(IS, Department of East Asian Languages and Literatures Lecture, University of Hawaii, Oct.1997
- 3 (IR)Communicative Language Teaching(IS, Department of East Asian Languages and Literatures Lecture, University of Hawaii, Dec. 1997.

講演

「初級日本語教科書 “*Japanese for College Students*” について」ICU日本語教育プログラム・日本語教育研究センター共催 研究例会24回（1997年6月10日）

平田 泉

報告

1. 「1997SCJ 教務報告」『ICU夏期日本語教育論集』14, 国際基督教大学日本語教育研究センター, 1997 年12月、4-18頁
2. 「フォーメーションの目的と使い方」『ICU日本語教育研究センター紀要』7,1998年3月.
3. 「録音教材の目的と使い方」『ICU日本語教育研究センター紀要』 7,1998年3月.

教科書

1. *Japanese for College Students: Basic. Teacher's Manual* (根津真知子、村野良子との共著) 講談社インターナショナル, 1997年7月

村野良子

研究論文

1. 「日本に滞在する高校留学生の言語学習と文化学習－文化的距離という視点から」『異文化コミュニケーション』創刊号、異文化間コミュニケーション研究会、SIETAR JAPAN、4／1997.
2. 「初級レベルで行う体験学習の可能性と有効性」(牧野礼子との共著)『IC夏期日本教育論集』14、日本語教育研究センター、1997年12月、111-131.

博士論文

「高校留学生に対する日本語教育の方法－言語学習と文化学習の統合と学習支援システムの構築にむけて－」、国際基督教大学大学院比較文化研究科提出博士論文、1998 年3月.

報告

1. 「1997年C1クラス報告」『IC夏期日本教育論集』14、国際基督教大学日本語教育研究センター、1997年12月、33-37.
2. 「日本語会話データベースの構築と談話分析プロジェクトの紹介」『日本語OPI研究会ニュースレター』,1998年3月.
3. 「ロールプレイの位置づけとその活用方法」『ICU日本語教育研究センター紀要』7,1998年3月.
4. 「短期集中日本語教育におけるJCSを使用したコースデザイン」『ICU日本語教育研究センター紀要』7,1998年3月.

教科書

Japanese for College Students: Basic. Teacher's Manual. (根津真知子、平田泉との共著) 講談社インターナショナル,1997年7月.

その他の出版物

1. 「現状から、これからの日本語教育を考える」パネルディスカッション,小出記念日本語教育研究会論文集,1998年1月,89-120.

講演

1. 「聴解の指導」3回シリーズ、国際交流基金長期研修講座、1997年4月.
2. 「日本語教授法講座－高校留学生の日本語指導」4回シリーズ中2回、東京国際交流財団、1997年4月.
3. 「コミュニケーションな教室活動1、2」東南アジア派遣青年日本語教師派遣前研修、1997年5月.
4. 「ボランティア対象高校留学生日本語指導研修会」、エイ・エフ・エス熊本支部1997年6月.
5. 「受け入れ高校日本語指導担当者対象高校留学生日本語指導研修会」、エイ・エフ・エス東三河支部、1997年6月.

- 6.「現状から、これからの日本語教育を考える」パネルディスカッションパネリスト,
小出記念日本語教育研究会,1997年7月.
7. 市民講座「日本語教授法」10回シリーズ、三鷹市国際交流協会、1997年7月－9月
- 8.「コミュニケーションを重視した教室活動1、2」海外派遣青年日本語教師派遣前研
修、1997年7月.
- 9.「日本語教師の立場から」東京学芸大学特別講義、1997年12月.
- 10.「日本語教授法-高校留学生の日本語指導者研修」エイ・エフ・エス新潟支部1998年3
月.
- 11.「教材とアクティビティー」海外派遣青年日本語教師派遣前研修、1998年3月.

小川貴士

研究論文

- 1.「日本事情教育の一視座としての日本人論」『ICU日本語教育研究センター紀要』6,
61-69頁 国際基督教大学日本語教育センター

報告

- 1.「1997年文化プログラム報告書」『ICU夏期日本語教育論集』国際基督教大学日本語教
育研究センター
- 2.「読解教材の開発」(山下早夜子との共著)『ICU日本語教育研究センター紀要』7,1998
年3月,

研究発表

- 1.「『Cummmunicative and Narrative Japanese』について」ICU日本語教育プログラム・
日本語教育研究センター共催 研究例会26(1997年12月16日)

小澤伊久美

報告

- 1.「1997年漢字コース報告」,『ICU夏期日本語教育論集』14,国際基督教大学日本語教育
研究センター, 1997年12月,計8頁.
- 2.「『ICUの日本語』の語彙について」『ICU日本語教育研究センター紀要』7,1998年3月.

その他の出版物

- 1.「この作家のここを盗め3 村上龍に学ぶ シャベリ言葉をカッコでくくらない技法」
『小説家への道』,『鳩よ!』編集部編,マガジンハウス,1997年8月21日,60-66頁.

研究発表

- 1.「大学における「帰国生のための日本語教育」の学習目標－ICUでのニーズ調査より」
(廣瀬正宜・中村一郎・丸山千歌・中川健司との共同研究)平成9年度日本語教育学会
春季大会,1997年5月25日(予稿集57-62頁,日本語教育95号139頁).

2. 「バーナード・コムリーのアスペクト論と日本語の「タ」」 研究会シグノ1997年5月例会, 1997年5月10日, (研究会シグノ会報84号, pp.4-10, 1997年8月) .
3. 「ICUにおける帰国生対象の日本語クラスについて－対象、目標、シラバス、教材、クラス活動の紹介と今後の展望 (Special Japanese Program Aの場合)」 ICU日本語教育研究センター研究例会, 1997年11月19日.

尾崎久美子

報告

1. 「漢字教材の開発と課題」『ICU日本語教育研究センター紀要』7, 1998 年3月.

鈴木庸子

研究論文

1. 坪根由香里・鈴木庸子「中級の作文教育－意識調査、ワープロ・電子メール利用と作文の分析を通して考える－」『ICU日本語教育研究センター紀要』6、1997年3月43-60頁
報告

1. 「ICU初級日本語教科書におけるドリルの位置づけとその活用方法」『ICU日本語教育研究センター紀要』7, 1998年3月,
2. 「集中日本語IIにおけるコース開始時の問題－学習者特性と教科書の学習項目の観点から－」『ICU日本語教育研究センター紀要』7, 1998年3月.

研究発表

1. 「上級日本語学習者のための読書支援システム－本文の内容理解について－」第8回日本語教育方法研究会 1997.4.5 (『日本語教育研究会誌』 Vol.4No.1, 22-23)
2. "Software for analyzing Japanese" Winter 1998 LLL presentation on COMPUTER-ASSISTED LANGUAGE RESEARCH & TEACHING Monday, Jan. 19th

山下早代子

研究論文

1. 「話し言葉教育：教室活動のありかた」『日本語学』8月号 東京：明治書院, 51-62.
2. Yamashita, S. (1997). Cloze test performance of JSL learners and native first graders. In H. M. Cook, K. Hijirida, & M. Tahara (Eds.), New trends and issues in teaching Japanese language and culture (Technical Report #15, pp.99-117). Honolulu: University of Hawaii, Second Language Teaching and Curriculum Center.
3. Yamashita, S. (1998). Assessment of project work. In J.D. Brown (Ed.), New

Ways of Classroom Assessment. Alexandria, VA: TESOL. 356-360.

報告

1. 「人間関係の中で変化するポライトネス」視聴覚教材 フォーラム 4 記録、国立国語研究所
2. 「読解教材の開発」(小川貴士との共著)『ICU日本語教育研究センター紀要』7,1998年3月.

研究発表

1. "Apology strategies by speakers of Japanese." 国際基督教大学LLL例会
2. "I'm sorry...what should I do?": Expressing apology in Japanese conversation. 11th Annual International Conference on Pragmatics and Language Learning. University of Illinois at Urbana-Champaign.
3. 「日本語の謝罪表現」国際コミュニケーション学会、長崎純心大学
4. 「日本語学習者による謝罪方略の習得: CHILDESプログラムを利用した比較語用分析」CHILDESワークショップ、東京女子大学
5. 「日本語学習者による謝罪表現の習得」日本語教育学会、広島大学
6. "Testing JSL Pragmatics." JALT International Conference, Hamamatsu ACT City 浜松アクトシティ
7. 「人間関係の中で変化するポライトネス」国立国語研究所主催 第4回視聴覚教材フォーラム公开发表会、国立国語研究所
8. "What do DCTs and roleplays assess?" Association of American Applied Linguistics. Seattle, Washington, U.S.A.
9. PacSLRF '98シンポジウム「Pragmatic development in instructed setting」パネリスト、青山学院大学

講演

1. 国立国語研究所主催第4回視聴覚教材フォーラム「人間関係の中で変化するポライトネス」ワークショップコーディネーター、(1997年11月1日～2日)、金沢工業大学

5. 受贈図書

熊本大学留学生センター 「熊本大学留学生センター紀要 第1号」 熊本大学留学生センター 1997

慶應義塾大学日本語・日本語文化教育センター 「日本語と日本語教育 第25号」 慶應義塾 1997

創価大学別科 「創価大学別科紀要 第10号」 創価大学別科 1996

財団法人北海道国際交流センター 「第18回国際交流のつどい報告書」財団法人北海道国際交流センター 1997

- 神田外語大学言語教育研究所編 「言語教育研究 第7号」 神田外語大学言語教育研究所 1996
- 及川昭文編 「じんもんこん 第3号」 重点領域「人文科学とコンピュータ」事務局 1997
- 言語処理学会編 「言語処理学会 第1回年次大会チュートリアル資料」 言語処理学会 1995
- 言語処理学会編 「言語処理学会 第2回年次大会チュートリアル資料」 言語処理学会 1996
- 言語処理学会編 「言語処理学会 第3回年次大会チュートリアル資料」 言語処理学会 1997
- ビー・エス・データ株式会社編 「人文学と情報処理 第13号」 勉誠社 1997
- 安永尚志代表 「重点領域『人文科学とコンピュータ』テキスト処理研究成果報告書」 国文学研究資料館 1997
- 小沢一雅代表 「『人文科学とコンピュータ』 データベース研究成果報告書」 穂高産業株式会社 1997
- 石黒真木夫他 シンポジウム「人文科学における数量的分析(2)」 シンポジウム「人文科学における数量的析」実行委員会 1997
- 水田徹代表 「『ヨーロッパの歴史を読む』国際教育課程統合研究プロジェクト報告書」 東京学芸大学海外子女教育センター 1997
- 拓殖大学留学生別科 「拓殖大学日本語紀要 第7号」 拓殖大学留学生別科 1997
- 長友和彦代表 「児童・生徒・学生及び日本語学習者の作文能力の発達過程に関する研究」 1997
- 筑波大学日本語・日本文化学類「日本語・日本文化実習報告第7号」 筑波大学 1996
- 平田悦朗代表 「日本語学習者の文の予測能力に関する研究及び読解力・聴解力向上のための教材開発」 1997
- 広島大学教育学部日本語教育学科 「広島大学日本語教育学科紀要 第7号 学科創立10周年記念号」 広島大学教育学部日本語教育学科 1997
- 東京外国語大学留学生日本語教育センター 「東京外国語大学留学生日本語教育センター論集第23号」 東京外国語大学留学生日本語教育センター 1997
- 大東文化大学外国語学部日本語学科 「海外日本語教育研修報告書(北京外国語大学)」 大東文化大学外国語学部日本語学科 1997
- 財団法人言語文化研究所 「日本語教育研究 第33号」 財団法人言語文化研究所 1997
- 東北大学留学生センター 「東北大学留学生センター紀要 第3号」 東北大学留学生センター 1997
- 大阪外国語大学日本語講座 「日本語・日本文化研究 第7号」 大阪外国語大学日本語

講座 1997

東京都立大学人文学部編 「人文学報 No.282」 東京都立大学人文学部 1997

財団法人日本国際教育協会編 「留学交流 6月号」 ぎょうせい 1997

留学生センター広報委員会 「長崎大学留学生センター紀要 第5号」 長崎大学留学生センター 1997

明治書院企画編集部編 「日本語誤用分析 付録付き一記号類」 明治書院 1997

広島大学留学生センター 「広島大学留学生教育」 広島大学留学生センター 1997

広島大学留学生センター 「広島大学留学生センター紀要 第7号」 広島大学留学生センター 1997

多和田眞一郎 「『琉球館訳語』の音訳字(そのに)」 広島大学留学生センター 1997

広島大学留学生センター運営委員会 自己点検・評価報告書編集委員会 「広島大学留学生センター自己点検・評価報告書」 広島大学留学生センター 1997

広島大学留学生センター 「『留学生指導の現状と課題ー諸外国の実践に学ぶ』1996年広島大学留学生センター講演・討論会報告書」 広島大学留学生センター 1996

お茶の水大学日本言語文化学会 「言語文化と日本語教育 第13号」 お茶の水大学日本言語文化学会 1997

金沢大学外国語教育研究センター 「外国語教育研究センター通信」 金沢大学外国語教育研究センター 1997

大東文化大学外国語学部日本語学科 「大東文化大学日本語学科 年報4 1996年度」 大東文化大学外国語学部日本語学科 1997

アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター 「アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター紀要20 20号記念号」 アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター 1997

文部省 「國語対策協議會議事録 復刻版」 文部省図書局 1939

広島大学留学生教育連絡協議会・広島大学留学生センター 「学生チューターQ&A」 広島大学留学生教育連絡協議会・広島大学留学生センター 1997

九州大学日本語教育研究会編 「日本語教育研究1997」 九州大学大学院比較社会文化研究科日本語教育研究会 1997

東京女子大学言語文化研究会編 「東京女子大学言語文化研究 第6号」 東京女子大学言語文化研究会 1997

お茶の水大学日本言語文化学会 「言語文化と日本語教育 第14号」 お茶の水大学日本言語文化学会 1997

財団法人言語文化研究所 「日本語教育研究 第34号」 財団法人言語文化研究所 1997

文化外国語専門学校 「文化外国語専門学校日本語課程 紀要 第11号」 文化外国語専門学校 1997

- 大江淳良他編 「アメリカの大学では、たった今・・・1996 第2版」 日本IMOSY
1997
- 名古屋学院大学留学生別科（日本研究プログラム） 「日本語学・日本語教育論集 第4号」 名古屋学院大学留学生別科（日本研究プログラム） 1997
- 梶田優／加藤泰彦編 「海外言語学情報 第9号」 大修館書店 1998
- 東京学芸大学海外子女教育センター 「平成九年度在外教育施設における指導実践記録第20集」 東京学芸大学 1998
- 飛田良文編著 日本語文章表現法 白帝社 1997
- 飛田良文／宮田和子 十九世紀の英華・華英辞典目録 ICU語学科飛田研究室 1997
- 飛田良文 代表 明治以降の外来語史研究 （科学研究費補助金 基盤研究(B)研究成果報告書） 1997

6. 教職員一覧

センター教員（教養学部と兼任）

飛田 良文	教授・センター長（1993年4月より）・紀要編集委員長
George D. Bedell	教授
稲垣 滋子	教授・夏期日本語教育ディレクター
広瀬 正宜	教授
中村 妙子	教授
根津 真知子	準教授
中村 一郎	準教授
平田 泉	講師・夏期日本語教育教務主任
村野 良子	講師・夏期日本語教育主任講師
小川 貴士	講師・夏期日本語教育文化プログラム主任
尾崎 久美子	講師
鈴木 庸子	講師
山下 早代子	講師

センター職員

岡田 勝子